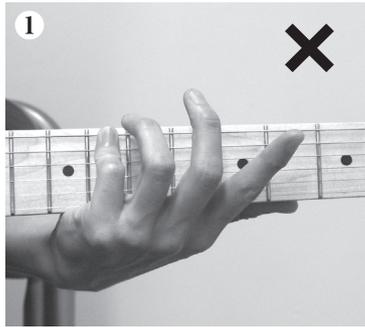


### 注意点1



#### 小指の押弦時に他の指は離すべからず

まず左手の基本的な押さえ方をチェックしよう。人差指から中指・薬指・小指と順番に押さえていく場合、押弦したあとに指を離さないように注意すること。すなわち小指を押さえた時点で、写真②のように人差指から小指まで4本すべてが弦を押さえているようになることが大切だ。写真①のような悪い例になってしまうと見るからにツラそうだろ？ “ちゃんと弾けているからイイじゃん”って言う人もいられるだろうが、このように無駄な力が入ってしまえば指も腕も疲れるし、速さも追求できない。見た目にもカッコ悪いしね。ゆっくりとしたテンポでもいいので、とにかく正確に弾くように心がけよう。基本を怠る人は、後々泣くことになるぞ！



6弦 8f を小指で押弦する時に、ほかの指が指板から離れていてはイカンのだ！



慣れるまで大変だと思うが、このように小指で押弦した時に、ほかの指が指板から離れていないことが大切だ。

### 注意点2



#### 次に押さえる指は常に空中待機させること！

このようなクロマティック・フレーズでは、1本ずつ指を順々に動かすことが重要だ。今回は、練習があまりに機械的作業にならないように弦跳び移動も盛り込んでみた。まず前半部分では、人差指の移動場所を考えながら練習しよう。今弾いているポジションの次のポジションのことを常に確認しながら弾くと、スムーズな移動ができるだろう。3小節目の横移動では、人差指の移動に意識を集中させること。そして4小節目の小指→人差指でのパターンでは、人差指を押さえている時点で、次に押弦する小指を空中で待機させておくことが大切だ(写真③～⑤)。



1弦 15f を押弦している時点で、次の押弦場所を確認！



小指の押弦時には、すでにほかの指の押弦準備も...



小指を離すだけで薬指による2弦 18f の音が出るのだ。

### 注意点3



#### ピッキングの軌道を低くしあせらず弦跳びを行なおう

1 & 2 小節目に登場するような弦を跳び越えるピッキングも注意しよう。このフレーズでは、弦移動をする直前にアップ・ピッキングしている。つまり弦跳びする直前で右手は移動したい弦の逆の方向に向いているのである。スムーズに次の弦をダウン・ピッキングするためには、右図のように右手の軌道を小さくする必要がある。これは筆者もどんなに苦労したことか……。きれいに弾くためのコツは、直前のアップ・ピッキング終了時に、すぐにダウン・ピッキングの体勢に移る意識を持つこと。自分の右手の動きをよく目で見ながら練習することも大切だ。鏡を使って、右手の動きを確認するのも良いだろう。

#### 図1 無駄の少ないピッキング

- × ピックの振りが大きく無駄が多い
- ピックの振りが少なく無駄が少ない

